

2020年度（42期） 事業計画書

自：2020年4月 1日

至：2021年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会 2020年度事業計画書
(2020年4月1日—2021年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

①育成目標

今年度は「10頭」の盲導犬を視覚障がい者に貸与する(全て代替者)。

②体験歩行会の実施などを通して、新規申込者を増やす取り組みを継続する。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア(フォローアップ)

①専任指導員を中心としたフォローアップ体制を継続し、定期的なフォローアップを実施する。

②盲導犬に対する予防的医療費の助成を継続する。

③引退を控えた盲導犬に対する健康診断を継続実施する。

(3) 犬の育成・ケア

①子犬45頭をパピープログラムに投入するための繁殖を行う。

②AGBNをはじめとする国内外の協力先と連携し、繁殖業務の向上を図る。

③凍結精液を利用した繁殖の実績を積み上げる。

④他の盲導犬協会等からの繁殖犬あるいは訓練犬の導入を図る。

⑤リタイア犬の医療費補助(ワクチン接種費用を除く)を継続する。

⑥獣医師会と連携し、協会所有犬の健康管理体制を継続する。

⑦夏季の暑さ対策を目的とした訓練体制を整える。

(4) 訓練部職員のスキルアップ

①認定NPO法人全国盲導犬施設連合会が主催するセミナーならびに各種研修会へ職員を派遣する。

②訓練担当者2名について、全国盲導犬施設連合会が認定する訓練士の資格取得を目指す。

③訓練技術の向上を目的に、海外の盲導犬育成施設等に職員を派遣する。

④国際盲導犬連盟の主催セミナーならびにその関連セミナーに職員を派遣する。

(5) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施するため、第三者委員で構成された盲導犬貸与委員会の開催を継続する。

(6) フレンドドッグ事業

①これまでの事業内容を継続しつつも、新規訪問先の募集ならびに実施内容の充実を図り、実績を積み上げる。

②検討委員会を開催し、事業としての効果的な取り組みを検討する。

(7) 調査研究

①京都大学大学院文学研究科との「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続する。

②京都造形大学との「ハーネスのデザイン」に関する取り組みを継続する。

1-2. 相談事業

(1) 苦情ならびに相談に関する対応

盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、相談担当職員、フォローアップ専任指導員、第三者委員が連携して迅速な対応を図る。

(2) 他機関との連携

他団体の盲導犬に関する苦情に対して、全国盲導犬施設連合会と連携のうえ、行政窓口への報告を行い、早期解決を図る。

1-3. 啓発普及事業

(1) 啓発普及活動

- ①月1回の定例見学会を継続する。
- ②盲導犬ユーザーを主体とした啓発普及活動の実施を継続する。
- ③機関誌「ハーネス通信」を年4回発行する。
- ④行政ならびに視覚障がい者団体等と連携して啓発普及活動を継続する。
- ⑤必要に応じてホームページ記載事項の改定を行う。
- ⑥現担当者の定年退職を見据えた啓発事業体制を検討する。

(2) 協会主催・共催イベント

- ①毎年4月29日に開催していた「オープン・デー」を、「盲導犬 loves' フェスタ」と改称し、「盲導犬貸与報告会」とあわせて、5月31日（日）に開催する。
- ②「慰霊の日」「ボランティアズデー」を例年通り開催する。
- ③京都府視覚障害者協会など、視覚障がい者団体との共催イベントに参加する。

2. 管理部門

(1) 収入と支出に関する取り組み

- ①収入基盤となる会員・募金箱・街頭募金、ならびに寄付募集の取り組みの強化を図る。
- ②パピーボランティアならびに繁殖犬ボランティアに、犬の飼養にかかる経費の負担をお願いする。
- ③必要に応じてデータ管理に関するシステムを改良するとともに、その運用体制を見直す。

(2) 労働環境の整備

必要に応じて就業規則の改定や労務管理方法等を見直す。

3. 施設整備ならびに備品購入等

旧犬舎の施設整備や隣接地活用に関する検討を継続する。

4. 協会について

(1) 職員について

		正職員数	有期契約職員数	訓練士・指導員資格取得年
管理部門	所長	1		1999年
	経理 渉外 事務	1 1	1	
	募金箱回収		1	
公益事業部門	訓練部長 (歩行指導員兼任)	1		2002年
	歩行指導員 (FU専任を含む)	3		2002年1名 2014年1名 2016年1名
	盲導犬訓練士	1		2019年1名
	訓練担当	3		
	パピー担当	1		
	繁殖担当	1	1	訓練士資格所有者1名
	木香テラス担当	2	1	訓練士資格所有者2名
	啓発普及担当	2		
	事務	1		
計		18	4	

※木香テラスは、犬管理棟の名称

(2) 訓練士・歩行指導員等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク (AGBN)、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施する。

(3) 訓練について

犬のステージ	期間 (犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
子犬	生後約 55 日 ～約 1 歳	パピーウォーキング	パピーウォーカー担当	パピーウォーカー宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1 歳～ 約 2 歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 担当	木香テラスでのプレ訓練プログラム、
	約 2 歳	共同訓練 (2 週間～ 4 週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2 歳～ 10 歳	フォローアップ	FU 専任指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を持続するために、盲導犬貸与後年 1 回以上のフォローアップの実施

(4) 施設について

①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2 (5,715.71㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-3 (2,486㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-4 (393㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 24-2 (105.98㎡)

③建物

a. 訓練センター棟 (鉄筋コンクリート2階建て) 826㎡
事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室 (7室)・犬用医務室・犬舎

b. 観察犬舎 (鉄骨平屋建て) 犬室4室 94.60㎡

c. ハーネス研修センター (木造2階建て) 宿泊室3室 122.84㎡

d. 木香テラス (木造一部2階建て) 540.39㎡